

## ◆獄中40年、無実の星野文昭さんを取り戻す決議

安保法制粉碎、安倍政権打倒！そして9・6星野解放徳島刑務所デモの大爆発で獄中40年の無実の星野文昭さんを取り戻そう。その最先頭に全学連が立とう！

星野さんは、「佐藤政権による1972年の沖縄のペテン的返還」に対して人生をかけて闘い、1971年11・14渋谷暴動闘争に決起した。彼は今全学連大会へのメッセージでこう述べている。

「国鉄・星野の闘いはスターリン主義、社民のクビキをのりこえ、労働者人民の自己解放・団結の力で世の中を変えようとする60年、70年の闘いとその発展を圧殺して、労働者人民から全未来を奪おうとした攻撃に対して、これに屈せず全てを奪い返し勝利しようという闘いでした。

全てを奪う、生きる意志さえも奪う過酷な攻撃であっても人間としての労働者人民としての誇り、その人間性、共同性、存在そのものを譲り渡さずそれらをかけて絶対反対で闘うこと。そこにおいて自らと家族、全ての労働者人民の人間性、共同性、それに根ざした絆・愛、団結を信頼しそれに依拠し、それを拡大・発展させることによって闘い勝利していく。それによってすべてを奪い返していくような闘いでした」（星野文昭さんの全学連大会へのメッセージ）

星野さんの闘いこそ、大恐慌と戦争の時代の中、闘う労働者階級の魂であり生き方だ。星野さんの闘い、生き方、労働者への無限の信頼から学び300万学生を獲得する学生自治会建設、安保法制粉碎、安倍政権打倒の闘いの先頭に立とう。帝国主義に対する絶対反対の怒りと労働者階級、学生への無限の信頼、職場・キャンパスから安倍政権打倒！安保法制粉碎の労働組合、学生自治会を建設しよう！

安倍政権が戦争と改憲へ向かう中、法大闘争を闘う全学連こそ星野奪還の最先頭で闘い、星野さんと団結・連帯を固めよう。星野闘争は戦時下の治安弾圧体制との最前線だけでなく、団結を拡大させ勝利できることを示している。

星野文昭絵画展が全国各地でうなりをあげて開催され、かつてない成功を勝ち取っている。この絵画展の実行委員会の多くが労働者を軸に勝ち取られ、絵画展に来た労働者が星野さんの闘いに感動している。星野闘争はゼネストに向かう労働者の闘いと一体で前進している。学生は星野絵画展を労働者と団結して成功させよう。

全証拠開示運動は敵権力を追い詰め、星野さんの無実をますます鮮明にしている。「殴打」認定の核心証拠となっている「Kr供述調書」の信頼性は根底から揺らいでいる。全証拠開示運動を推し進めよう。「ビデオ国賠訴訟」の東京高裁闘争に決起しよう。

全学連は9・6徳島刑務所包囲闘争に集まり、大成功させよう！9月安保国会粉碎決戦を闘いぬき、星野さんを取り戻す突破口の年にしよう。

2015年9月3日

全学連第76回定期全国大会参加者一同